

## 第1学年 図画工作科学習指導案

指導者 吉原 功雄

### 1 単元名 きらきらテープおえかき

### 2 単元について

#### (1) 図画工作科の本質に迫る単元構想

子供たちは紙テープや紐など細長いものを手にすると、それを使って何かの形として表そうとする。紙テープや紐を一本の線として感覚的に捉え、うずまきやうねりの中からキャンディーやへびといった形体を想像し描いていく。それは、鉛筆やマジックを使って描くより簡単な形体ではあるが、反って子供のもつ大胆さを引き出し創造性を見取れる格好の材料になる。

本単元では、紙テープや紐の代わりに防鳥テープ（田や畑で鳥を威嚇するために使うもの）を使い、その長さや幅を生かして体育館にある用具を画面にして、その画面いっぱいに自分の好きなものや表したいものを形づくっていく活動である。ネットや肋木、周りの壁といった画面はその大きさだけでなく、空間としての面白さをも提供することになり、テープの弛みやひねりを線の動きとして感じることが可能で、創造的想像力を大いに刺激する状態になると考える。きらきら輝くテープはクリスマスやお楽しみ会で室内を飾る楽しい材料をイメージするもので、体育館内いっぱいにその楽しさが形になって広がりを見せられるものと予想する。

#### (2) 基礎・基本の定着を図る教師の支援

テープを1本の線のように扱い形づくりをしていく際、子供は生き物や乗り物など好きなものをイメージする。テープを直角に曲げたりカーブを描かせたりしてイメージしたものに近づけようとするが、鉛筆やマジックでかいた線とは異なり、テープがすれたりほどけたりすることでイメージから離れてしまう。そのとき、テープのどこを固定・定着すればイメージに近づいていけるか、知らせることを教師の支援としたい。また、子供との対話を通じて形の中に線を増やすことで、そのものがよりはっきり伝わるようにテープのつなぎ合わせについても知らせるようにする。固定・定着の材料としてネットや肋木、壁面など巨大な画面を用意することが支援と言える。第1学年のこの時期に、大きな画面（器具）の中でとっても長いテープに触れながら、手をしっかり伸ばしたり体をあちらこちらに動かしてイメージしたものを形づくっていく活動は一人一人がもつ多くの感覚を伸ばすのに適切であると考えた。

#### (3) 個の才能を伸ばす教師の支援

形づくりをしていくとき、線となるテープの取り扱いが才能の芽生えになると考える。細かく切らずに形にすることがイメージになるものの輪郭を追っていくことであり、折りたたんだり重ねたり、またはよじったりすることで隠そうとし、イメージに合った形にしようとし、このとき形へのこだわりとして才能の芽生えがあると考えられる。そこでの支援として、初めに長いテープを切らせておいてそのつなぎ合わせで形づくりをしていくようにする。これによってたるみが生じたり複雑なつなぎあわせができたりと子供の多くの工夫が期待できると考える。また、対照的に何気なくできているテープの丸みやねじれなどに感覚を働かせ、それをそのまま線として扱ったりそこから何かの形体が見え、形作りのきっかけにしたりして、創造的想像を大いに膨らませることが可能になる。ネットや肋木、壁面など、画面となるところに凹凸があったり隙間があったりと大変不定形な画面と言える、そのため、形づくりにおいてテープを短く切って多くのつなぎ合わせをし、線の美しさを台無しにすることを避ける意味においても、材料に応じた有効的な画面設定であると捉える。

### 3 単元の目標

- ・ 長く伸びるテープを線として見て、テープを引っ張ったりひねったり伸ばしたり丸めたり、またつなぎ合わせたりながら、自分のイメージに合うように形づくりをするなかで、線のよさや形体の面白さを感じ取る。
- ・ 体育館にある器具を画面として使うことで、その大きさと空間に十分触れながら、材料と空間に対する感覚を覚え、表現に生かしていくようにする。

### 4 単元構想（全2時間）

第1時 表したいものをイメージして、テープを使って形づくりをする。（1時間）

第2時 形づくりを追究しながら、友達や自分の表したもののよさを知る。（1時間：本時）

### 5 本時の学習指導

#### (1) 目標

- ・ テープを伸ばしたり巻きつけたり、つなぎ合わせたりする中で、テープで表す線の流れや形のおもしろさに気づくことができる。
- ・ ネットや肋木等の器具や壁を画面にしたとき、テープの使い方を考えて形づくりをすることができる。

学 習 活 動	本質に迫る認知構造の変容	教師の支援
1 防鳥テープを持たせ、前のテープの違いから、つくりたいもののイメージをもたせる。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〔材料〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きらきら光るテープなんだ。</li> <li>・金色と銀色があるよ。</li> <li>・幅もひろいよ。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〔空間〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットにテープを通していけるんだ。</li> <li>・肋木や壁も使っているんだ。</li> <li>・すごく広いよ。</li> </ul> </div> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どんなものをイメージする？</p> </div>	<p>○ 形づくっていく画面を選ぶときにイメージしたものをもとに、どこが効果的かを知らせて、選んでいくように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットや肋木 …簡単な形で丸みやカーブが多くあるもの</li> <li>・ 壁 …横に広がっていくもの</li> </ul>
2 つくっていく場所を知らせ、自分のイメージに合わせて、画面となる場所を決める。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きらきら光るからお星様にしよう。</li> <li>・ぼくは金色のドラゴンをつくろう。</li> <li>・長い長い電車を体育館に走らせてみたいなあ。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お空にあるからステージの上でネットにつくりたい。</li> <li>・はねをつけたいから、はみだしてもいい。</li> <li>・やっぱり壁がいいな。</li> </ul> </div> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>画面について友達と相談しよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>テープを使って、一体の□□□□に○○○○をおえかきしよう。</p> </div>	<p>◎ 活動の場の安全確認をしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットに力を加えすぎないこと。変形したりずれ落ちたりする。</li> <li>・ 肋木は決して飛び降りないこと。</li> <li>・ 壁でつくるときは椅子の背を壁際にして、上り下りをスムーズにすること。</li> </ul> <p>○ ロールを持って作業をすることは、つくりにくいということ、安全面に欠けるということで、テープを切ってから形づくりをするよう呼び掛ける。</p>
3 テープを伸ばしたり巻きつけたり、つなぎ合わせたりしながら、自分のイメージに合う形をつくっていく。	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ぴんとテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットに通していくとテープがぴんと張るよ。</li> <li>・ ほかのテープがあまりできないよ。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>ふわっとテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柔らかいものや丸い感じのものに使うとよさそう。</li> </ul> <p>くるっとテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車のタイヤで大きくつくろう。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>だらんとテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 髪の毛や服はだらんとテープにしたら感じがでるよ。</li> </ul> </div> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>テープどうしをつなぎ合わせて、イメージしたものがわかるようにしよう。</p> </div>	<p>○ 器具や壁への接着については実際に提示して子供に気付かせておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットに貼るときは、貼り付けの部分がないので、テープを折り曲げてテープ同士で貼るようにする。</li> <li>・ 肋木や壁は、凹凸が激しいのでテープは長めに切って、しっかり貼るようにする。⇒大型のテープカッターの用意</li> </ul> <p>◎ ネットや肋木等で、高位置に引っ掛けたり通したりしたいときは、教師が援助をし、子供との活動を大切に心がける。その際に子供のイメージも把握するよう努める。</p>
4 自分がつくったもののよさや工夫したことについて発表する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>わたしはテープを線のようにして○○をつくっていったよ。線でおもしろい形ができたよ。</p> <p>大きな画面ですと気持ちいい。今度はどこを使ってしようかな。</p> </div>	<p>評：テープの長さや広がり、また画面となる場所をヒントに、自分のつくりたいものをイメージし、つくることができたか。</p> <p>○ 自分の作品のいいところを紹介することで、友達作品についての違いに気づくようにする。</p>